

MorrowWorld

Morrow World 会社紹介資料

2023年 05月 1日 更新

会社について

About company



会社概要



社名 株式会社Morrow World

CEO 諸澤 良幸

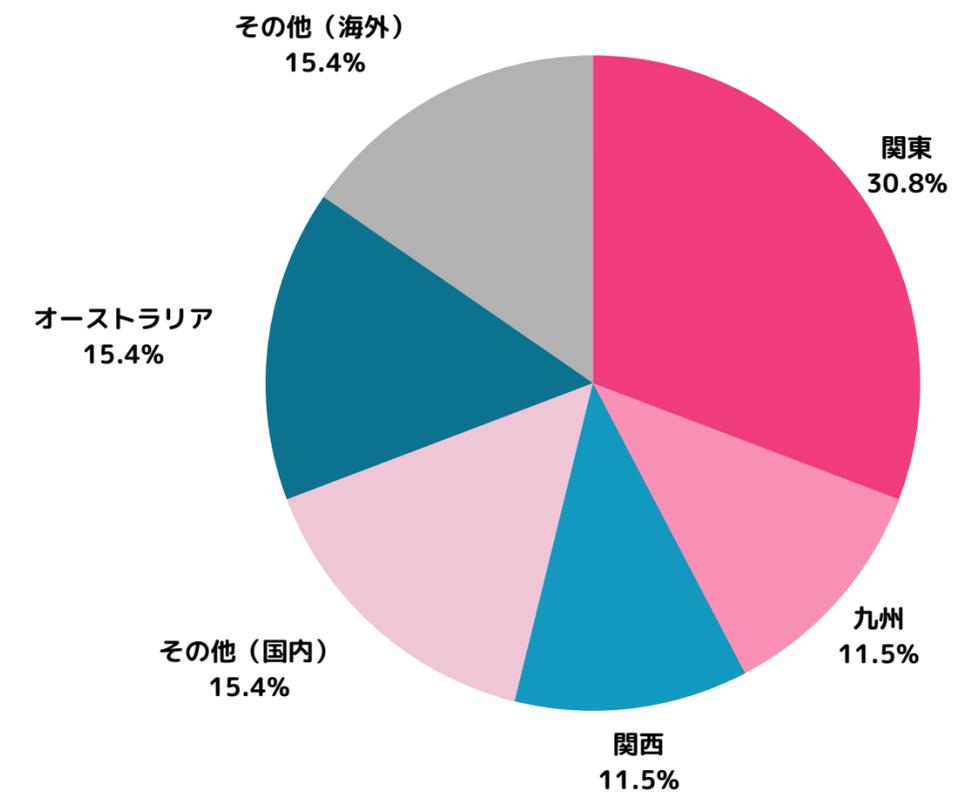
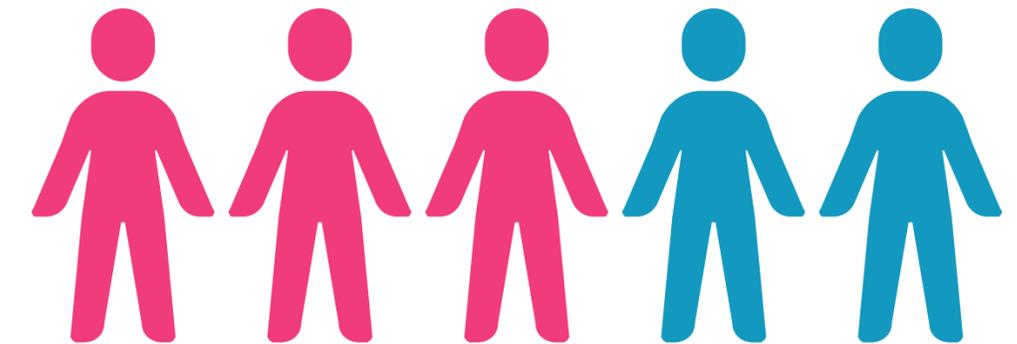
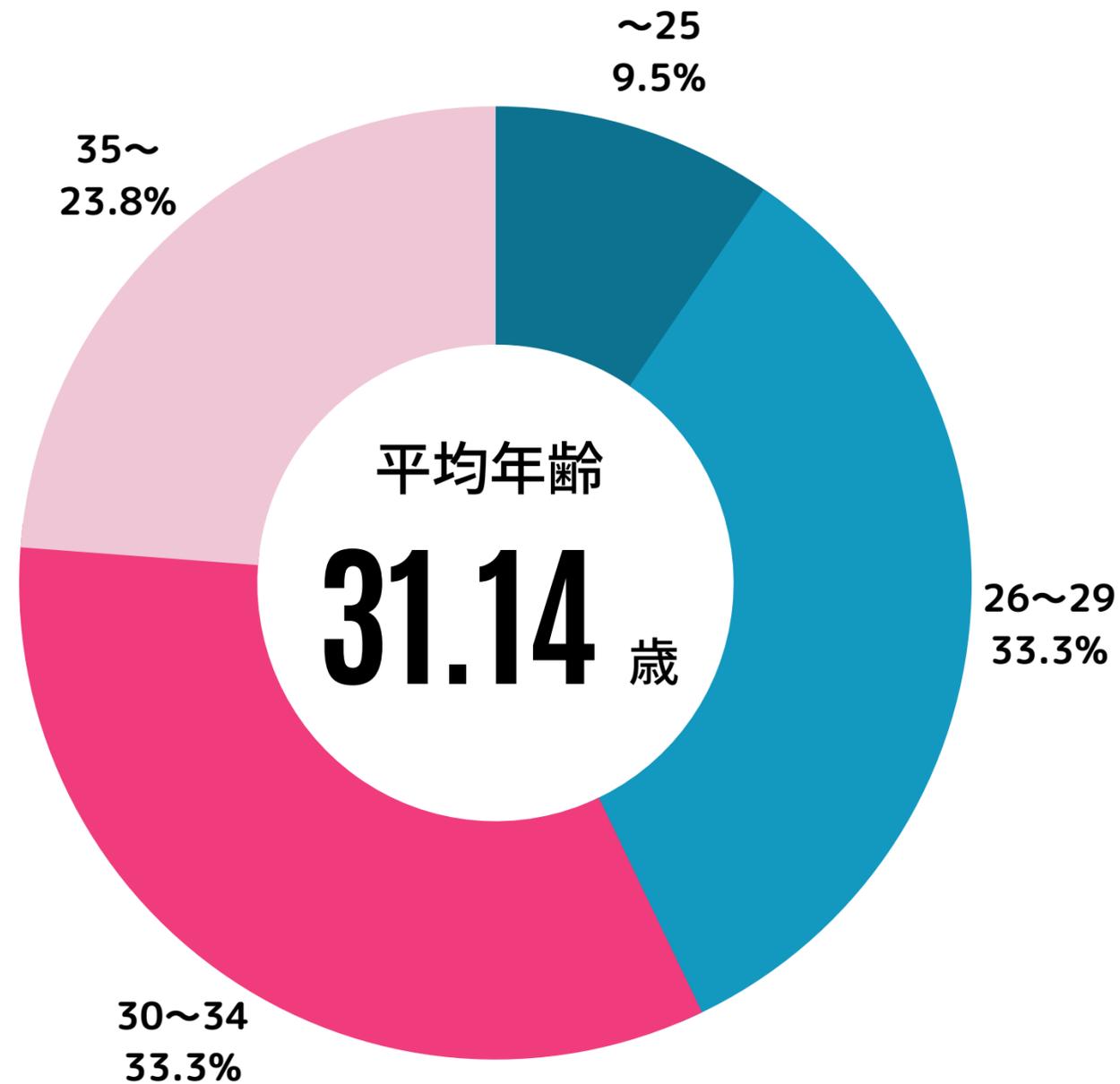
COO 畑 徳真

設立 2015年11月

従業員 約35名（2023年5月時点）

事業内容 留学エージェント事業 TABIKEN留学
英語コーチング事業 ENGLEAD
学研オーストラリア FC本部/直営店運営

関連会社 オーストラリア法人
Morrow World Pty Ltd.
Morrow World Consulting Pty Ltd.



スタッフ1人ひとりが世界で自立して活躍

年間約30名の新規採用計画で世界中にMorrow Worldの仲間が増えています



事業について

About our business



教育のプロフェッショナルカンパニー

2015年より海外留学事業、海外情報メディア事業、英語教育事業、子供向けスポーツアカデミー運営など教育に特化した事業を展開し、今まで1万人近い方にサービス提供をしております。

留学エージェンツ事業



 **タビケン留学**
世界へ旅立つ経験をあなたに

英語コーチング事業



ENGLEAD

学研オーストラリア



Gakken

Since 2015 Nov



タビケーン留学

世界へ旅立つ経験をあなたに

留学エージェント事業

フィリピン、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドを中心とした100校以上の学校の正規代理店として、語学留学・ワーキングホリデー・専門学校留学の手配と現地生活のサポート等を提供するサービス

タビケン留学

世界へ旅立つ経験をあなたに

- 基本サポート無料の留学エージェント
- 一人ひとりに合わせたプランを提案
- 8年間で累計相談7000人以上の実績

フィリピンとオーストラリアに現地スタッフがいるのでリアルタイムな現地状況を把握でき、海外の100以上の教育機関の正規出願窓口となっているので無料エージェントとしてのサービス提供が可能となっています

留学取り扱い国

- オーストラリア
- フィリピン
- ニュージーランド
- カナダ

* 2023年6月から留学サポートMorrow Worldはタビケン留学にサービス名を変更しました



ENGLEAD

英語コーチング事業

英語はロジックと習慣化で伸ばすをコンセプトに、日本人の英語力向上に本気で向き合い、効率的に英語力を伸ばし目標達成させる、完全オンラインの英語コーチングサービス

Since 2020 Jun





ENGLEAD

- オンライン特化の英語コーチングサービス
- ロジックと習慣化によって最短で英語力を向上
- 採用率0.3%を突破した優秀なコーチが在籍

コロナ禍でも「ENGLEADの英語学習体験を通じて、明日の世界を切り拓く日本人のグローバル化に貢献していきたい。」と考え誕生したサービス。1人でも多くの日本人に人生が変わる体験を提供します。

提供コース

- オンライン英語コーチングコース
- オンラインTOEIC点数保証コーチングコース



Since 2023



Gakken

学研オーストラリア

Gakken Class roomのオーストラリア国内でのMFC（フランチャイズ本部）としての展開権利を保有しており、直営教室運営とFC教室を展開。2033年にはオーストラリア全土で350のFC教室の出店予定。日本式教室でオーストラリアの教育に革命を起こす。

2028年

サービス全体累計
提供人数10万人へ

📍 トラビケツ留学
ENGLEAD
Gakken

1人でも多くの方の"世界への挑戦をリードする"

100,000人





MVV

MISSION / VISION / VALUE
CREDO

MISSION



Leading challenge for the world

世界への挑戦をリードする

「英語が使えない」「海外を知らない」という理由だけで国境を越えて世界へ挑戦が出来ない社会を変えたい。

私達は世界のグローバル化がより一層進む中、日本国内だけでの活動ではなく、国境を超えて世界へ挑戦したい個人・企業をリードしていきます。「英語が使えない」「海外を知らない」という理由だけで、挑戦を躊躇したり、諦めることがない日本社会にしたいと考えています。国境を超えるというのは海外に行くことだけではなく、国境を超えた繋がりを生み出すことも指します。オフライン・オンラインで海外と繋がり、明日の世界を切り拓く人を1人でも多く創出するために、世界への挑戦をリードするそれが私達の使命です。

ENGLEAD / TABIKENで世界への挑戦をリードしていきます。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Ryo Yaguchi'.

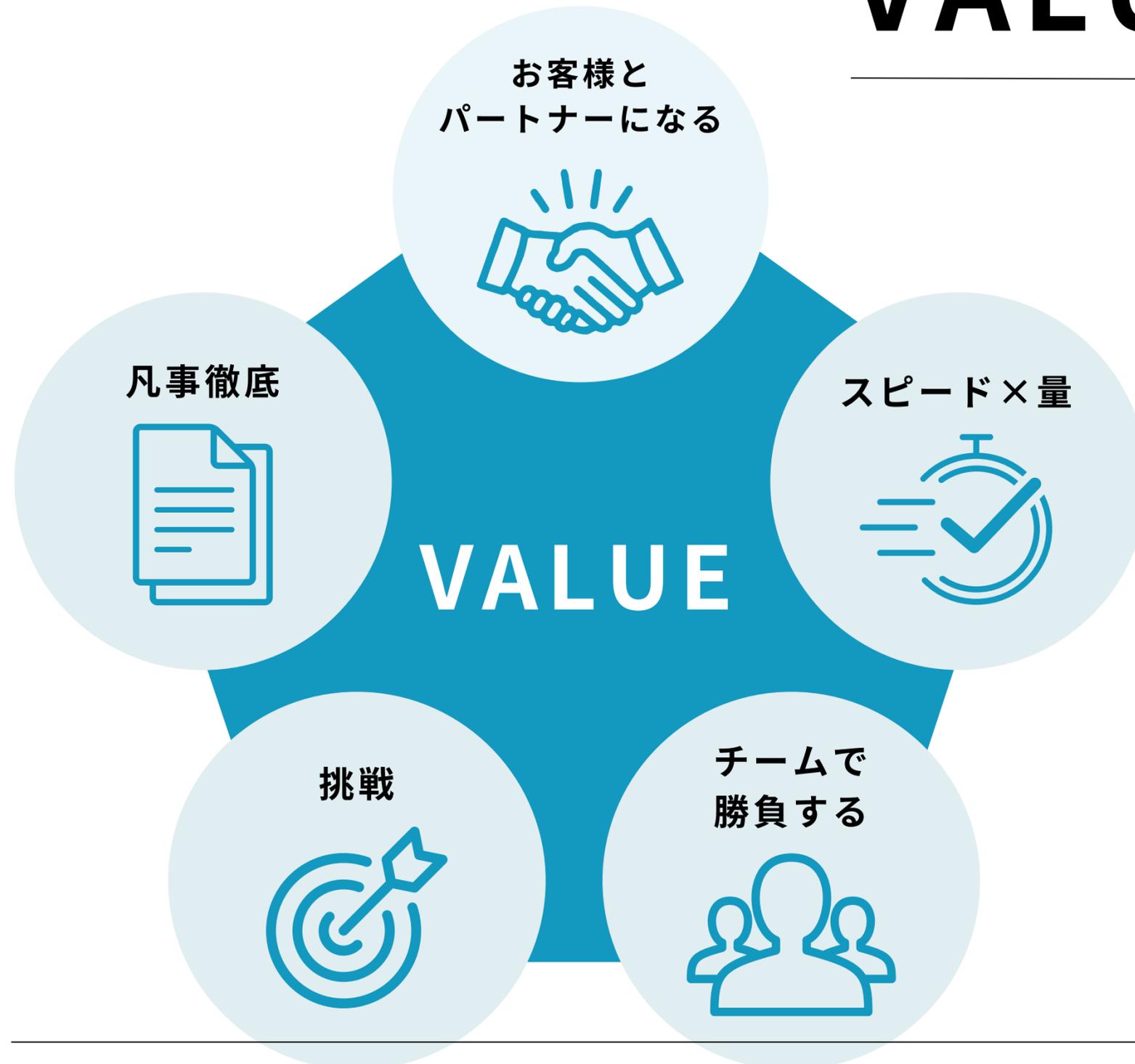
株式会社Morrow World 代表取締役社長 諸澤良幸



VISION

世界がより身近になる社会へ

VALUE



VALUE とは

Morrow WorldがMISSIONとVISIONを達成するためにチームメンバー全員と「やるべきこと」を表したものの。

「やるべきこと」とは、すなわち「価値観=VALUE」。

同じ価値感で物事を進めることで、判断基準が統一され、より目標に近づくことができます。

お客様とパートナーになる

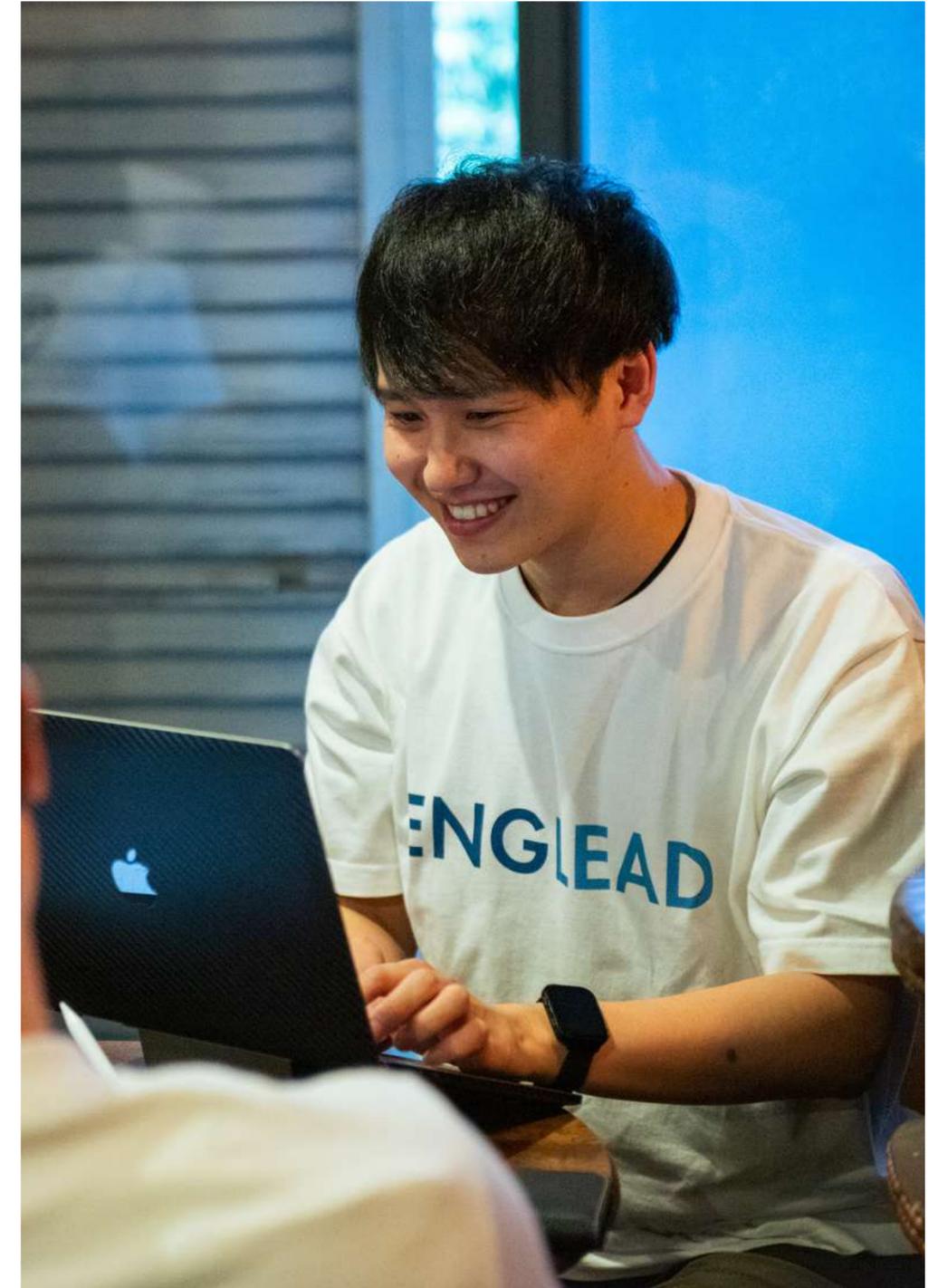
私たちはお客様を世界へリードするパートナーとして、プロの仕事を遂行します。

◎ 良い事例

1. お客様のタイプを見極め、その人にあった対応をする
2. 明確な裏付けや根拠、納得感のある説明をする
3. お客様の話をしっかり聞き、相手を理解しようとする
4. お客様の立場になって、寄り添い、共感ができる
5. お客様の目標を自分事として捉える

× 悪い事例

1. 全員に同じ対応をする
2. 言葉に裏付けや根拠がなく信頼を得られない
3. お客様の話を聞かず、自分が話し続けている
4. お客様の立場や状況を考えず一方的な会話をとる
5. お客様の目標を他人事として捉え軽んじる





凡事徹底

凡事徹底とは「当たり前前のことを徹底的にやること」です。
組織の強さとは当たり前前のレベルの高さに現れると考えます。

◎ 良い事例

1. 常に期待以上の成果を出す
2. ミスを未然に防ぐ
3. 事実と意見を分けて考える
4. 目的を元に課題と手段を考える
5. 時間や期限を守る
6. ゴールから逆算して進める
7. MTGに主体的に参加する

× 悪い事例

1. 成果ではなく「やること」が目的になる
2. 同じミスを繰り返す
3. 事実と意見が混同する
4. 手段と目的を履き違える
5. 時間や期限を守らない
6. 目の前のことから積み上げて進める
7. MTGで発言しない

挑戦

失敗を恐れずチャレンジし続ける。

現状維持こそ最大の悪とMorrow Worldは考えます。

◎ 良い事例

1. 新しいことを前向きに受け入れる
2. 目標を高めに設定する
3. 壁とポジティブに向き合う
4. 「できる方法」を考える
5. 代案ありきで批判する

× 悪い事例

1. 変化を嫌う
2. 目標を低めに設定する
3. 壁から逃げる
4. 「できない理由」を考える
5. 代案のない批判をする





スピード×量

スピードは価値。早い行動は早い成功を生みます。
 量は質へ転換されます。クオリティを出すためにはまず量から。

◎ 良い事例

1. すぐにやる
2. その場で考える
3. 数をこなす。質は後からついてくる
4. Done is better than perfect
5. 自分のところで仕事を止めない
6. レスポンスが早い

× 悪い事例

1. すぐにやらない
2. あとで考える
3. 数をこなさずに質を求める
4. 期限を守らない
5. 自分のところで仕事を止める
6. レスポンスが遅い

チームで勝負する

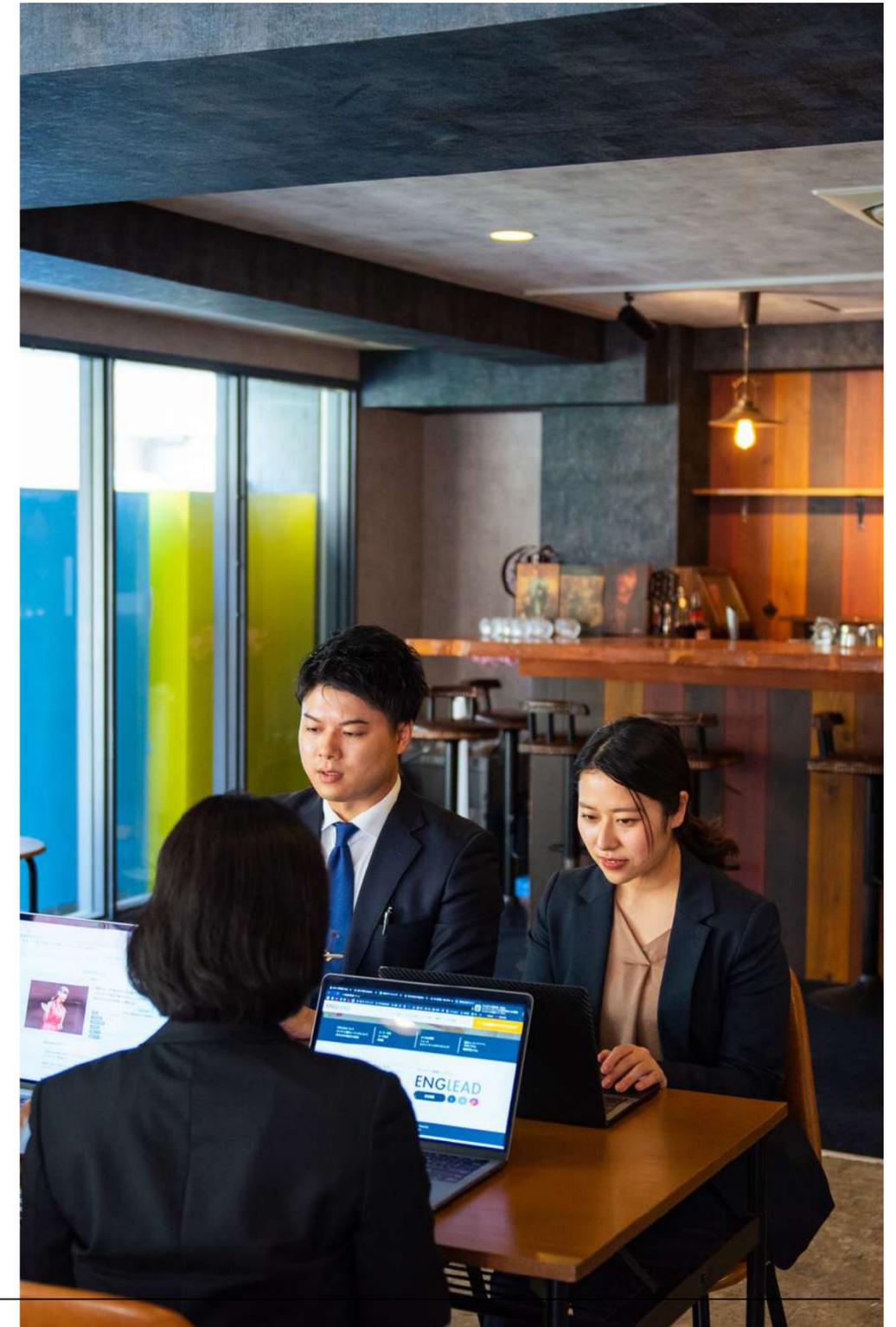
主体的に参画することで仲間と喜びを分かち合うことができ、仕事が愉しくなる。

◎ 良い事例

1. 困っているメンバーがいたら助けに行く
2. 自分が困ったら、遠慮せず自ら助けを求める
3. 率直にフィードバックしよう
4. 先入観なく、相手の意見に耳を傾けてみる
5. 情報の透明性を高めて連携しやすい環境づくりを意識
6. 何事にも建設的に批判し、感情的な批判をしない
7. 他人の成功を素直に称賛する

× 悪い事例

1. 困っているメンバーを自ら助けない
2. 問題を一人で抱え込み、チームに共有しない
3. 忖度・遠慮して必要と思った事を言わない
4. 先入観を持ち、特定の人意見を聞かない
5. 情報共有が遅く、確認される
6. 建設的な批判をせず、感情的に非難する
7. 重箱の隅をつつきチームの雰囲気壊す



CREDO

- 判断基準はお客様
- 依存ではなく自立
- Done is better than perfect
- 人を責めず、仕組みを疑う
- やる人が偉い

CREDO とは 信条 / 行動指針

- Morrow Worldにおいて称賛される行動の目安・考え方
- 迷ったときの優先度を明確にするもの、判断を助けるもの



判断基準はお客様

私たちの使命は、「お客様の満足」創造にあります。

意見が分かれた時、迷った時は使命に立ち返り「よりお客様が満足されるベストは何か」を考えて判断を行います。



依存ではなく自立

私たちはできない理由を他者や環境に求めることなく、自分に矢印を向け、できる方法を模索し自立した個人となります。

個々が当事者意識を持ち自分の意思・考えを持って常にベターではなくベストは何かを考え、行動します。

Done is better than perfect

完璧を目指す前にまずは終わらせることに価値があります。
完璧を求めると物事がなかなか進みません。

まずは終わらせて、そこからフィードバックと改善をしてまた終わらせる。これを繰り返すことによってクオリティが高まります。



人を責めず、仕組みを疑う

私達はチャレンジを推奨する文化です。

その中で失敗は必ず起きます。失敗が起こった時、感情的には「誰か」のせいにしたくなります。失敗が起こった時は人を責めず、「仕組み」を疑います。

失敗がなぜ起きたのかを構造的に分析し、仕組みで再発を防ぎましょう。

やる人が偉い

Morrow Worldではまだ見ぬ明日に向かう業務や挑戦をしています。

その中でまだ仕組み化されていない、職務上定義されていない「担当者の決まっていない仕事」もたくさん出てきます。

Morrow Worldでは業務領域を飛び越えて積極的に挑戦することを推奨・評価します。



YOU CAN
DO IT